

広報 KASHIBA

かしば

10

2017.10.23
No.604

香芝地区地域安全推進委員
香芝警察署

特集

地域の力で子どもに笑顔と安心を
～学校・地域パートナーシップ事業～

今月の表紙



写真は、小学生の下校時に付き添い、安全を守る見守り隊の様子です。今月の特集は、地域のボランティアの皆さんが学校と協働し、子どもたちを支援する「学校・地域パートナーシップ事業」にスポットを当てます。



ひとの動き

— 9月末日現在 —

人口	79,134人（前月比+55人）
男	37,878人（前月比+21人）
女	41,256人（前月比+34人）
世帯数	30,702世帯（前月比+39世帯）



香芝検定

certificate examination for KASHIBA

平成29年度、市内の市立小学校で児童数が最も多いのは旭ヶ丘小学校ですが、2番目に多いのはどの小学校でしょうか。

- ① 五位堂小学校
- ② 下田小学校
- ③ 二上小学校
- ④ 真美ヶ丘東小学校

（答えは11ページにあります）

CONTENTS

もくじ



もくじ 2

特集 3

地域の力で子どもに笑顔と安心を
～学校・地域パートナーシップ事業～

市政トピックス 6

① 相撲ゆかりの地をPR

② 11月1日(水)より利用できます 香芝市地域交流センター

ひと ◇ まち ◇ かしば 7

○ 赤十字奉仕団による炊き出し

○ 高齢者作品展

○ 秋の交通安全県民運動

○ 畿央大学との連携協力に関する協定締結式

○ 子育てを上手に楽しむⅢ

イキイキ！香芝っ子 8

第3回 中学生議会

市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング 11

市ホームページでも広報かしばをご覧ください。

URL <http://www.city.kashiba.lg.jp/>

「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。

詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。

☎ 76 - 7179

次回発行は、お知らせ版11月6日（月）広報かしば11月21日（火）



特集 地域の力で子どもに笑顔と安心を ～学校・地域パートナーシップ事業～

◆問合先 教育部生涯学習課 ☎内線452

学校・地域パートナーシップ事業とは？

学校・地域パートナーシップ事業とは、保護者や地域の人々が学校の教育活動に参画し、学校と協働することを通じて、地域ぐるみで子どもたちを育むことを大きな目的として行われる事業のことであり、また、こうした取組を通じて地域の活性化も図ることができます。

地域には、自らの持つ特技や趣味を生かして地域に貢献したいと願う経験豊かな人材がたくさんおられます。そのような方がたに活動の場と生きがいを提供するとともに、活力を学校の教育活動に生かすことで教育そのものの活性化も期待できます。



具体的な学校ボランティア活動

- ・学習活動支援
家庭科の実習補助など
- ・生活安全支援
登下校時の見守り活動など
- ・学校図書室支援
本の修理・図書室の環境整備など
- ・環境整備支援
学校花壇の整備・地域の清掃など
- ・部活動支援
- ・職場体験受入支援
- ・行事運営支援
運動会・マラソン大会の準備及び開催協力など

特別な技術や能力を持ったかただけがボランティアではありません。学校に通う子どもたちの通学を見守る、これも学校ボランティアです。他にも、学校図書室の運営や花壇の手入れ、農業指導など、自分の興味のある分野、得意な分野で無理のない時間で子どもや先生の活動を支援しておられます。



地域と学校、 つながることで 生まれるもの



学習活動支援

先生と共に
より効果的な学習を



学校ボランティアの中には、授業中に児童・生徒の補助をする「学習活動支援ボランティア」があります。支援の方法はさまざまで、授業の見守りや本の読み聞かせ、校外での活動の付き添いなどがあります。先生一人ではなく、ボランティアのかたが教室にいることで、より細やかな教育を行うことができます。

一例として、旭ヶ丘小学校では家庭科の授業の際、地域のかたが先生の補助として教室に入られています。

ミシンを使った授業で、先生が注意点と使い方を分かりやすく説明されます。もちろん児童たちは先生の説明をしっかりと聞き、理解もしていますが、初めて触るミシンに悪戦苦闘。そこで



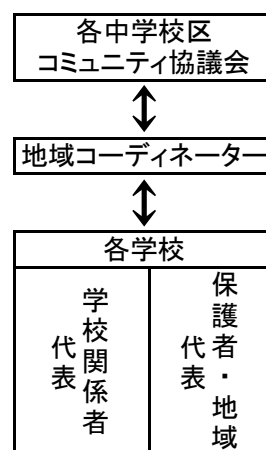
ボランティアのかたは「さつき先生はこんなことを言ってたよ」「こうすると作業しやすいよ」と支援に入ります。ミシンのように実技の伴う授業においては、一人ひとりに合わせた効果的な指導が必要な場合があります。そんなとき、ボランティアの支援の効果は絶大です。

ボランティアのかたに話を聞くと「学習の補助をすることで、できなかったことができるようになったときの子どもの顔を見られた瞬間、自分たちもうれしくなり、やりがいを感じる」と学習支援のやりがいを話してくださいました。

学校と地域をつなぐ 地域コーディネーターの役割

本市ではたくさんの学校ボランティアのかたが活躍されていますが、そのボランティアの皆さんをサポートしているのが地域コーディネーターです。現在本市には4つの中学校区があり、それぞれの学校区に地域コーディネーターが配置されています。（香芝東中学校区は現在不在）

地域コーディネーターは、学校からの「手助けしてくださるボランティアはいませんか」という要望と、「〇〇ができるんだけど役に立ってないかな」という地域のかたの思いをつなぎ、協働を手助けするパイプのような役割を担っています。



地域と学校、一体となつて 子どもを守る

学校ボランティアの中でも、最も広い範囲で活動が行われているものの一つが「見守り隊」です。小学生の登下校時に、交差点や細い道など、危険な場所でも子どもたちの安全を守ってくれています。交通量の多い場所での立哨や通学の付き添いなど地域によってその方法はさまざまです。

友達と話をすることに夢中になってしまい、ついつい歩道に出てしまう児童たちに「白線の内側に入ってねー!」と優しく誘導されます。また、見守るだけではなく、学校に向かう児童たちと笑顔で話をするボランティアさんたち。「子どもを守るのが一番の目的だけど、子どもとふれあい、話すことで自分たちも元気がでる」「時々卒業生が『おじさんお久しぶりです。お元気



見守り隊

ですか?』と声をかけてくれるんですよ」と見守り隊としてのやりがいや楽しさを話してくださるかたもいらっしゃいました。

学校だけでは大勢の児童たちの登下校を見守ることは難しい状況で「学校だけでなく、地域も一体となって協力することが大事だと思う」と学校ボランティアの重要性を話してくださいました。



こんな取組も!

生徒・学校、そして地域の協働

香芝西中学校では、生徒、先生、そして地域のかたが連携し通学路・危険地区マップ（道幅が狭い、横断歩道が無い、街灯が少ない場所など）を作成しています。

普段車での移動が多い大人とは違い、徒歩や自転車での移動が多い生徒たちの目線と、長年その地域で生活をされている地域のかたが意見を出し合い、生活するうえで危険な場所をマップに書き込んでいきます。

そのマップを基に先生、地域のかたと実際にその場所へ出向き、どのように改善していくか検討します。

安全・安心なまちづくりにつながるだけでなく、生徒が先生以外の大人と協力し合い作業を行うことで、社会性やコミュニケーション能力の育成にもつながる新しい取組が始まっています。



マップ作成の様子



選定した場所を調査する様子

学校ボランティアに参加しませんか?

今回紹介した学校ボランティア以外にもたくさんのボランティアが本市では行われています。学校・地域パートナーシップ事業は、保護者や地域の人々が学校の教育活動に参画し、学校と協働することを通じて、地域ぐるみで子どもたちの成長を支えることを大きな目的として行われる事業ですが、それだけでなく、生涯を通じて学ぶ人のための自己実現の場でもあります。

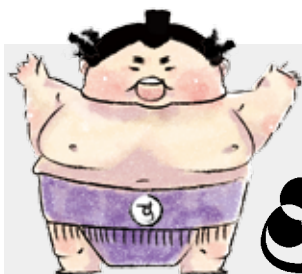
子どもたちのために何かをしたい、自分が今までしてきたことを伝えたいといった思いがあるかたは生涯学習課（☎内線452）へ問い合わせください。

相撲ゆかりの地をPR

◆問合先 市役所商工振興課 ☎内線164

大和まほろば相撲連絡協議会発足

奈良県には、日本で最初に相撲が行われた地として、相撲にまつわる数々の言い伝えや史跡が残されています。こうした相撲ゆかりの観光資源などを「相撲発祥の地」として連携して地域の活性化を目指そうと、5月31日（水）、香芝市、桜井市、葛城市の3市は「大和まほろば相撲連絡協議会」を設立しました。



マスコットキャラクター
「すけのやまん」



YAMATO MAHOROKA SUMO
大和まほろば
相撲連絡協議会

ロゴ・キャラクター完成！

大和まほろば相撲連絡協議会は、大阪芸術大学に依頼して、ロゴ及びマスコットキャラクターを作成しました。マスコットキャラクター「すけのやまん」は、野見宿禰の「す」と當麻蹶速の「け」の文字から名付けられています。

産学連携促進事業により、相撲グッズを開発

ガラス彫刻工房ONOと大阪樟蔭女子大学の学生が連携し、平成29年6月より記念グッズの企画・開発に取り組み、「どすこい！グラス」が完成しました。商品は全3種類あり、すべてサンドブラストで加工されています。学生が考案・デザインしたコピー「どすこい！香芝」という文字が施されたり、グラスの底面を土俵に見立ててデザインされるなど、学生のアイデアが詰まった商品になっています。



「腰折田」を整備

香芝市には、相撲の起源とされる當麻蹶速と野見宿禰が決闘した地として今に伝えられている「腰折田」という場所があります。

訪れた人が一定時間滞在して観光できるよう、この「腰折田」を観光施設として整備し、10月13日（金）に完成しました。土俵や力士像、3市の相撲にまつわる施設を紹介したマップなどを表記した案内板を設置し、市民や観光客が憩いながら相撲発祥の地として古に思いをはせることができます。



◆住所 磯壁6-316-1
*駐車場なし

市政トピックス②

11月1日(水)より利用できます 香芝市地域交流センター

◆問合先 市役所市民協働課
☎内線173



◆利用時間

午前9時～午後9時

◆休館日

毎月第4火曜日、年末年始

◆住所

白鳳台1-14-1
(白鳳台集会所西側)

◆問合先

☎76-6500

[受付:午前9時～午後5時]

11月1日（水）より、新たに香芝市地域交流センターがオープンします。本施設は、地域住民の相互交流を促進し、活力に満ちた地域社会の実現に寄与するためのコミュニティ施設です。また、防災施設としての活用も想定しています。

会議室や和室など、1時間単位での利用が可能です。地域のさまざまなコミュニティ活動に利用ください。

*利用方法や利用料金など、詳しくは問い合わせください。

赤十字奉仕団による炊き出し

9月1日(金) 市役所

9月1日は「防災の日」です。防災の日を知ってもらい、防災に対する意識を高めることを目的に、全国各地でさまざまな運動が行われています。

本市では、香芝市赤十字奉仕団による非常食の炊き出しや防災啓発のパネルの展示が行われました。

朝から準備を始め、炊飯袋に入れた米をゆでる奉仕団の皆さん。まだまだ暑さの残る中、じんわり汗をかきながらも来庁されるかた一人ひとりに手渡し、防災意識の啓発を行いました。



高齢者作品展

9月11日(月)～26日(火) 総合福祉センター

毎年9月にかけて、総合福祉センターでは、シニア祭を開催しています。今年も健康・介護予防相談、かしば・屯鶴峯温泉の無料利用、高齢者作品展の3つのイベントを行いました。

高齢者作品展では、65歳以上のかたの趣味を生かした絵画、写真、書道、手芸などの作品を展示しました。会場には、多くのかたが訪れ、作品について作者と話す姿も見られました。訪れたかたは「この作品すごくいい」「こんなもの作れたらいいな」と鑑賞していました。



秋の交通安全県民運動

9月21日(木) 香芝警察署

県民の交通安全意識の高揚を図り、交通安全活動を盛り上げるため、「かぐや姫」である畿央大学生の際本祐花さんと佐藤莉子さんが香芝警察署の一日警察署長となり、出発式を行いました。際本さんと佐藤さんは「住民に事故多発地点を知ってもらいたい。1件でも交通事故を減らせるようがんばります」と話され、市民へ交通安全を呼びかけました。

秋の交通安全県民運動は9月21日(木)～30日(土)で実施され、各地域で交通事故防止の啓発活動が行われました。



畿央大学との連携協力に関する協定締結式

10月3日(火) 畿央大学

香芝市教育委員会と畿央大学は、市内小・中学校などの教職員の資質向上や教員養成の充実を図り、教育のさまざまな課題などに適切に対応することにより、お互いの教育・研究を充実、発展させることを目的に、連携協力に関する協定を締結しました。今後、現職教員の資質能力向上に関わる校内研修プログラムの開発に連携して取り組みます。具体的には「特別支援教育」と「教育の情報化」を主な課題として、学校内で先生同士が教え合い、学び合える研修システムの開発を目指します。



子育てを上手に楽しむⅢ

10月6日(金) 総合福祉センター

全4回の講座で、少し肩の力を抜いて楽しく子育てをする幸せな親になるためのヒントを見つけることを目的に、思春期の子どもの心、共食、子どもの心の発達、父親の育児参加について学びます。第1回目は、「思春期の子どもの心の世界～反抗期のころ～」をテーマに、子どもが「自分と向き合いながら現実的に考える力」を養い変動する現代社会を生き抜くために、親はどうあるべきなのかを一緒に考えようと、大阪樟蔭女子大学根本眞弓准教授が講義し、参加者は熱心に聴講しました。



イキイキ！香芝っ子

第3回 中学生議会

8月23日（水）、市役所の市議会議場で「第3回 中学生議会」を開催しました。

保護者や市民、報道機関が傍聴する中、市内4中学校の生徒が市長や市の幹部職員に質問や提案をしました。

◆問合先 教育部教育総務課 内線404

災害対策について

香芝市では防災スピーカーは普及しているので
しょうか。

A

香芝市の自然災害のリスクについては、地震・風水害・土砂災害などがありますが、防災スピーカーの有効性を検討した中で、本市では土砂災害警戒区域に防災行政無線スピーカーが必要であると判断し15基設置しました。



平成28年熊本地震による家屋倒壊の様子 提供：奈良県

その他のリスクや香芝市全域への連絡体制については、各自治会及び学校など避難所に防災デジタル無線を配備し、緊急時の連絡体制を構築しています。また、報道機関を通じた情報提供や、広報車による広報活動を行うとともに携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールを送信するなど、多種に渡る情報提供を行う予定です。

中学校給食について

定期的に中学生が考案したメニューを実施してほしいです。

A

給食センターの果たす使命として、まずは「安定した運営」が求められてきましたが、今後、より充実した中学生にふさわしい「食育」を進めることが求められています。その計画の中には、「定期的に中学生が考案したメニューを採用する」も含まれており、早期の実施を目指し検討をしているところです。実施の際は各学校を通して、皆さんに依頼をさせていただきますので、それまでアイデアを練っておいていただきたいと思います。



香芝市の魅力発信について

香芝市を多くのかたに知ってもらうために、市としてはどのような取組をされていますか。
また、文章や画像だけでなく動画の方が興味を持てるのではないかと思います。

A

市の広報紙はもちろんのこと、観光をはじめとするさまざまなパンフレットなどの刊行物、また、ホームページなどにより、情報発信を行っています。

ホームページ上において、静止画像や動画だけの紹介だけではなく、風景やまち並み、人の動きなど、動画により見ていただくことは、本市の魅力をPRするツールとして、より有効な手段であると考えています。

今後、比較的長期に渡り使用できる内容のもので、本市の魅力をアピールする動画コンテンツを制作し、ホームページに掲載する検討ができればと思っています。



学習環境について

Q 香芝市には自習スペースがなく、学校にはクーラーもありません。地域や市で快適に勉強ができるような場所を設けてもらうことはできないでしょうか。

A

本市では多くの施設を所有していますが、その施設にはそれぞれの目的があり、自習室として使用する、その施設本来の目的を達成できない場所もたくさんあります。そうした目的の範囲で皆さんが利用できるスペースがあるか検討したいと思います。



地域の施設での自習スペースの確保については、皆さんが住んでいるそれぞれの地域に自治会が所有する自治会館や集会所がありますが、そのような施設を開放するにあたり、鍵の管理や自治会で行われる行事との調整など解決しなければならぬ問題も多々あります。また、自治会で管理をされている施設なので、自治会の理解を得ることが最も大切なことであることは言うまでもありません。皆さんに自治会活動に積極的に関わってもらい、自治会の信頼を得ていただくことも一部必要なことかもしれません。



スポーツ施設について

Q スポーツができる施設を増やす予定はありますか。今ある公園ではサッカーなど球技ができないところがほとんどですが、理由がありますか。

A

スポーツができる施設を増やす予定について、本市では現在、平野地区においてスポーツ公園の整備を計画しており、完成しますとサッカーやラグビー、陸上競技、バスケットボール、野球などのスポーツを楽しんでいただける施設が増える予定です。

公園でサッカーなど球技ができない理由ですが、まちの中にある街区公園は小さな子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層のかたが利用されることを前提として作られているため、安全性を考慮し球技は禁止しています。ただし、サッカーなど球技ができるグラウンドは市内に4か所（有料）あります。



防犯について

Q 防犯カメラをもっと多くの場所に設置してほしいです。また、今あるカメラは誰が管理しているのでしょうか。

A

設置状況については、市内の防犯体制の強化を図るため、香芝警察署と協議し、市内の犯罪の多い箇所や犯罪が発生する可能性のある場所を選定し、防犯カメラを設置しています。現在、自治会による設置も含め、市内70台余りとなっています。



防犯カメラの維持管理については各々の設置者が行っています。実際に防犯カメラで記録された映像については、警察から要請があった場合のみ取り出している状況です。



国際化対応について

Q 海外と姉妹都市を結べば中高生が交流の機会を持てるとは思っています。できれば、その基盤づくりを皆さんが担ってくださることを期待しています。

A

現在のところ、本市は、国内外ともに姉妹都市を提携している都市はありません。ただし、平成3年に「町」から「市」になったいわゆる「同期市」をはじめとするいくつかの自治体とは、災害時における相互応援協定を締結するなど連携を行っているところです。



今後ですが、姉妹都市の提携を市が結ぶということになりますと、どこでもいいというわけではなく、なぜ、その都市なのかということの理由や説明が必要です。市民が中心になって交流を長く続けていくためにも、多くの市民が理解をし、親しみをもち、香芝市民にとっても相手都市の市民にとっても、双方メリットがある都市でなければならぬわけです。市民の活動の中で、縁ができ、自然な形で交流の機運が盛り上がるのであれば、すばらしいと思っています。できれば、その基盤づくりを皆さんが担ってくださることを期待しています。



香芝高校
田仲 諒汰 議長 真鍋 綾菜 議長

今回の中学生議会は、香芝高校の生徒会の二人が交代で議長役を務めました。

中学生議会を終えて

議会を終え、田仲君は「議会で頑張って質問をしている中学生を見て、高校生である僕も香芝市についてもっと考える必要があったと感じました」と話し、昨年も議長を務めた真鍋さんは「中学生の意見、質問がしっかりしていて尊敬しました。昨年よりも緊張することなく、落ち着いて議長を務めることができました」と感想を述べてくれました。



香芝北中学校
岸本 梨奈 議員

今 まで議会の行われ方など全く知らなかったのですが、体験できてとてもうれしかったです。ずっと固い雰囲気かと思っていたのですが、笑いもあって楽しかったです。



香芝北中学校
今西 莉子 議員

学 校の代表として議会に出ているので緊張するかと思いましたが、自分が伝えたい事をしっかり伝えることができました。自分自身が一步成長できたように感じました。



香芝中学校
廣田 愛 議員

質 問の順番が一番目だったのが早くなってしまったりしましたが、聞きたいことはしっかり聞けたのでよかったです。



香芝中学校
田中 蒼人 議員

僕 たちの質問に対して、市役所の担当部署のかたが、真剣に答えてくださったのがうれしかったです。また、議場で発言の機会もただで貴重な体験ができました。

担 当のかたが自分の作った香芝市のPR動画を褒めてくださり、また、質問に對し親身になって答弁してくださったことがとてもうれしく感じました。



香芝東中学校
手嶋 宥斗 議員

想 像以上に緊張してしまい、質問をするとき、息がつまりそうでした。聞きたい内容を上手く聞けるように工夫し、質問ができてよかったです。



香芝中学校
北村 優樹 議員



香芝北中学校
岡野 愛来 議員

い つもこの場所で香芝の市政について決められていると思うと、今自分がすごい場所にいるんだなと感じました。緊張で落ち着いて質問することができませんでしたが、貴重な体験になりました。



香芝西中学校
熊本 福 議員

中 学生ならではの意見を考えて質問しました。初めての体験だったので、緊張して早口になってしまいましたが、優しく答弁してくださったので安心しました。



香芝西中学校
丹羽 眞優 議員

中 学生の質問にしっかり答えてくださりうれしかったです。少し緊張しましたが、議会の雰囲気味わうことができ、とても良い経験になりました。



香芝西中学校
大浦 海志 議員

自 分や他の人の質問に対する担当部署のかたの答弁で、香芝市の取組などを知ることができてよかったです。市議会を身近に感じることができた貴重な体験でした。

学 校で質問内容を決定する際、たくさんさんの意見が出て、質問する内容を絞るのにとっても苦労しました。質問をするときは緊張しましたが、とても良い経験になりました。



香芝東中学校
久保 康葵 議員

初 めは緊張していましたが、本番は落ち着いて質問できました。香芝市の事を知り、私たちの意見を伝えることができた貴重な体験ができてよかったです。



香芝東中学校
三岡 梨紗 議員



歩行と健康

門川 勝清さん

私は満77歳。2年程前からひざの痛みがあり、診察の結果、加齢による関節軟骨のすり減りが原因と診断されました。医師より手術か、薬剤をひざ関節内に定期的に注入する治療との説明を受けました。どう対処するか迷いましたが、歩いてひざの筋肉を鍛えることにしました。

歩行目的

○足腰を鍛え、ひざの痛みを早期に治す。

○加齢の影響で病気になるやくなる体質の改善に努める。

○80歳まで独力でゴルフをプレーすることを旨とする。

歩行開始

○年間歩行日数 カレンダーに印を付け、どの程度歩けるか試した。降水量2ミリ程度は決行。

勤務する意識で301日歩いた。

○コース 千股池、千股池、加守（掃守）神社と、変化をつけるため一週間交替にした。

○距離と時間 不動産広告は徒歩10分を800mで換算するが、私は少し速く900m。時間は

休憩5分を入れて75分。日常の運動量を入れると毎日7km強。ほかにゴルフ30日程度。運動しない日は皆無で、年間距離は約2,300kmとなった。

歩いた結果

○ひざの痛みはなくなりました。

○前立腺肥大の持病があり、夜中はトイレに3、4回程度行きましたが、今は1回程度です。

体力に個人差はありますが、無理しない程度に歩行を継続すれば病気の予防に効果があることが体験で実感しました。特に夜中のトイレの回数減少は喜ばしい限り、自己責任においてお試しください。

次回近藤さんにリレーします。



香芝検定のこたえ ③

児童数が多い順に、旭ヶ丘小学校1,000名、二上小学校833名、下田小学校748名、真美ヶ丘東小学校555名、五位堂小学校435名、三和小学校426名、関屋小学校404名、真美ヶ丘西小学校387名、志都美小学校301名、鎌田小学校219名となっています。(平成29年5月1日現在)

平成29年10月～

予防接種指定医療機関の変更について

旗尾池診療所(関屋北3-12-39)は、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種指定医療機関ではなくなりました。

◆問合先 保健センター

☎77-3965

パパッと簡単クッキング!

No.31



ラビゴットソースサラダ

(1人分49kcal)

【材料(2人分)】

レタス・・・2枚

(ラビゴットソース)

セロリ・・・10g

きゅうり・・・15g

トマト・・・15g

玉ねぎ・・・15g

酢・・・大さじ1

オリーブオイル・・・大さじ1/2

みりん・・・大さじ1/2

こしょう・・・適宜

【作り方】

①セロリはすじを取り、きゅうりとともに1cmのさいの目切りにする。

②トマトは皮を湯むきし、①と同じ大きさに切る。

③玉ねぎはすりおろす。

④ボールに酢・オリーブオイル・みりんを入れ、泡立て器でよく混ぜ①②③を加え和える。

⑤レタスは一口大に手でちぎって皿に盛り、食べる前に④をかける。

*レシピ協力：食のサポーターかしば



時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。

詳しくは、市役所秘書広報課まで問い合わせてください。

☎76-2001 (内線304)



現在の様子

近鉄下田駅北側

昭和61年ごろ
(1986年ごろ)

山浦さん(五位堂)提供写真



いにしえ
古のかしbahタイムスリップ

今昔アルバム

広告

広告

広告

広告